

地域づくりインターン事業 NEWS

平成 18 年 11 月 国土交通省 都市・地域整備局 地方整備課

本年度も“地域づくりインターン事業”が実施されました

○全国25市町村が参加！ 48名の若者が体験！



平成 12 年度より実施してきた「若者の地方体験交流支援事業」（地域づくりインターン事業）が本年度も実施され、全国から公募された 25 市町村で 48 名の体験調査員の受入れが行われました。

受入れ地域では、それぞれ工夫をこらした独自の体験プログラムを用意し、体験調査員の専門性や知見、地域づくりのアイデア等を引き出しました。

最近では、NPOや地域の各種団体が中心となって受入れるケースや、合併後の新市町村で庁内や地域の横の連携を図るためにインターンに活躍してもらうなど、それぞれの地域での“地域づくり”の方向性に合わせた形で実施されています。

このように受入れ主体や目的が多様化するとともに、事業成果の幅も広がる傾向にあります。

若者の地方体験交流支援事業 （地域づくりインターン事業）とは…

事業のねらい

- ①各地域が事業への参加を契機とした今後の地域の活性化を図っていく
- ②若者に生活の場として地方を認識する機会を用意する
- ③地域と若者の双方がそれぞれの目的に応じたそれぞれの成果を獲得する

この事業は、国土交通省が東京をはじめとする三大都市圏に居住する若者を募集し、事業参加地域に「体験調査員」（インターン）として派遣するものです。

受入れる市町村は、自らの地域づくりの方向性に基づいて事業参加目的を明確化し、その実現に寄与する体験交流プログラムの企画・運営を行っています。

体験調査員は、地域がこのような主旨で企画した体験交流プログラム（地域づくりや地場産業など、地域で生活しながらの体験）に概ね2週間から1ヶ月の間参加します。



平成18年度参加地域 今年度から参加

北海道紋別市	石川県小松市	長野県天龍村
岐阜県飛騨市	岡山県高梁市	長崎県小値賀町
熊本県産山村	熊本県山江村	大分県津久見市
宮崎県高千穂町	鹿児島県三島村	

昨年度に引き続き参加

岩手県紫波町	山形県遊佐町	群馬県嬬恋村
新潟県上越市	富山県氷見市	石川県珠洲市
石川県羽咋市	静岡県浜松市	和歌山県高野町
島根県浜田市	（旧弥栄村）	山口県長門市
徳島県美波町	福岡県大木町	鹿児島県錦江町

地域づくりへの
“きっかけ”に

アイデアあふれる 体験プログラム

今年の地域づくりインターン事業の様子は・・・

○石川県珠洲市（昨年度より実施）

<目的・事業内容>

☆珠洲市では、通年受入れ可能な体験プログラムメニューを作成することを視野に入れ、昨年とは異なる時期で実施。

☆これまでの漁業を中心とした「海」のメニューではなく、農業等を活用した新たな体験メニューを展開した。

<成果・効果等>

☆事業を終えて、まだまだ「自然観」「食」「人」など、埋もれている資源がたくさんあると感じた。

☆今年度は地元NPO主導で受入れを行ったため、地域住民の理解等も広げることができた。



○岩手県紫波町（昨年度より実施）

<目的・事業内容>

☆中心市街地活性化の一環として体験調査員が商店主へのヒアリングなど、様々な調査を実施。

☆体験調査員は「回遊性の向上」「商店街イベントでの集客力の向上」のために必要と思われるポイントなどを模索した。



<成果・効果等>

☆地域住民からは「体験調査員が、普段自分たちが漠然と感じていることを表現してくれた。今後、提案の内容等を踏まえ、町をよくするために取り組んでいきたい」という意見も。

☆昨年度の体験調査員も参加し意見交換するなど、交流の広がりも見られた。

○宮崎県高千穂町（今年度から実施）

<目的・事業内容>

☆高千穂町では、地域イメージや潜在資源を産業創出やまちづくりなどに反映させること、そして、住民の意欲を高めることを目指している。そこで、体験調査員に観光の現場や住民生活を体験してもらい、地域の人と体験調査員が地域資源等について一緒に考える場をつくること、そして、人々の行動意欲を高めてもらうことを目指した。

<成果・効果等>

☆まだまだ活用可能な地域資源があることに気付かされるとともに、農林業や商工業など産業との連携、まちづくりに対する住民の意識向上などの課題を知るきっかけにもなった。



○岐阜県飛騨市（今年度から実施）

<目的・事業内容>

☆飛騨市では都市住民の移住支援事業、滞在型観光地への転換施策を推進している。そこで、体験調査員が「モデル住宅」(滞在施設)での生活体験等を行い、都市部の若者の視点から、これらの施策の検証を行った。

<成果・効果等>

☆体験調査員からは、飛騨市の地域資源をインターネットを通じてプロモーションしていくこと、そして、滞在型体験学習についてのアイデアなど、様々な提案があった。



詳しくは報告会で・・・

◇今年度受け入れを行った全市町村が集結!!

◇誰でも参加OK!!

○長崎県小値賀町（今年度から実施）

<目的・事業内容>

☆エコミュージアム事業を推進する小値賀町では、改めて住民自らが地域の資源等を見直すきっかけとなることを目的として受入れを行った。体験調査員は約1ヶ月間小値賀町に滞在し、農業をはじめとする様々な体験や地域住民との交流を行った。

<成果・効果等>

☆福祉事業体験では、高齢者と子供のふれあいを創出するような事業の提案を行った。また、小値賀町のサポーターズクラブである「じげもん推進隊」に入隊するなど今後の活躍も期待される。

☆報告会には多くの地域住民が参加し、後継者問題など小値賀町が抱える課題について活発な議論が展開された。



さらに羽ばたく地域!

2年間の地域づくりインターン事業終了後も、独自で体験調査員の受入れを実施し、地域づくりのツールとして活用している地域も数多くあります。たとえば・・・

○島根県浜田市(旧旭町)

(平成16~17年度に参加)

<目的・事業内容>

☆市町村合併を経験した浜田市(旧旭町)では、自治体制度によって「これまで築いてきた地域文化・地域資源を活用したまちづくりを地域住民自らの手で行う取り組み」を模索している。

☆2人の学生を受入れることにより地域自らが一体となり自立していくきっかけを与えることが狙い。

<成果・効果等>

☆これまで、3自治区域が連携した取り組みとしては、地区の運動会くらいであったが、本事業を通じて“実行委員会”を立ち上げ、何度も協議を繰り返して受入れたことが大きな成果であった。

☆また、住民と行政との協働のまちづくりの第一歩としての芽生えもみられた。

○島根県津和野町

(平成16~17年度に参加)

<目的・事業内容>

☆地域住民が合併後の自地域を見直すきっかけとすることを目的として受入れを行った。

☆体験調査員は、ビデオカメラを持って町内の小さな集落をまわった。そこでいろいろな人との出会い・ふれあいなどを通じて地域の実情を理解し、その内容を番組にまとめ、ケーブルテレビを通じて地域全体に放映した。

<成果・効果等>

☆地域住民が、合併後の「新津和野町」の姿、町内各地の様子を知るきっかけとなった。

☆独自で受入れを行うため、庁内での調整や体制づくりに紆余曲折を繰り返した(ゼロ予算で実施)が、昨年度の体験調査員の再訪などうれしいサプライズもあった。

平成18年度インターン事業報告会を開催

12月16日(土)13時
(参加無料)

交流を「継続」するための秘訣に迫る!!

Welcome!!

「事業についてもっと詳しく知りたい」、
「市町村担当者やインターン生の話を
聞きたい」 そんな方の参加を
お待ちしております!!

- ①今年度行ったプログラム内容・運営について振り返る
 - ②「庁内での調整」や「地域住民の参画」を促すためのポイントを探る
- ☆今年度実施した体験プログラムのメニューや運営方法などについて、もう一度見直してみませんか？きっと、来年の事業実施につながるヒントがあるはずです！
☆今後、本事業への参加を考えている方々にとっても、“地域づくり”への足がかりになることを期待しています！

～PROGRAM～

12:30 開場・受付開始

13:00 開会

主催者挨拶・委員長挨拶

日時：平成18年12月16日(土) 13時00分～17時50分

会場：主婦会館プラザエフ 9F「スズラン」

<第1部 事業報告の部>

☆平成18年度受入地域による事業の報告・発表☆ 13:15～15:20

事業報告の部では、今年受入れを行った地域のうち6地域に事業報告をしていただきます。市町村担当者および体験調査員による発表、そしてそれに対する意見交換等を通じて、自らの体験内容を振り返っていただくことを目的としています。また、今後参加したいと考えている市町村の方々にとっては、地域づくりインターン事業についてより深く知ることができるものと期待しています。

報告 ○前半の部・・・岐阜県飛騨市、長崎県小値賀町、宮崎県高千穂町

○後半の部・・・静岡県浜松市、山口県長門市、福岡県大木町

— 休憩(10分) —

<第2部 担当者フォーラム・地域フォーラムの部>

☆担当者フォーラム☆ 15:30～16:30

昨年度と今年度の取り組みの比較を行いながら、庁内調整の経緯・変化、事業遂行上の問題点・課題点及び今後、事業を取り組むにあたり改善していきたいと考える点(プログラム、資金、受入準備・体制、地域住民への周知の仕方等)について議論を行い、来年度継続して事業を行っていくためのポイントを探ります。

— 休憩(5分) —

☆地域フォーラム☆ 16:35～17:45

インターン事業の効果・成果を向上させるポイントとして地域住民の参画が挙げられます。「地域フォーラム」では、今年度受入れていただいた市町村の担当者のほか、受入れに関わった地域住民の方々にも登壇していただき、受入れ前と現在での交流や地域づくりに対する意識の変化などについてお話いただき、住民参加や地域参加の効果・メリットを探ります。

17:50 閉会

★報告会終了後、同会場において交流会を行います。

～交流会参加のお誘い～

報告会終了後は、交流会を予定しております。様々な方との交流・情報交換の場として、和やかな雰囲気で開催されております。どうぞ奮ってご参加下さい。(会費：一般3千円 学生2千円)

報告会への参加申込について

地域づくりインターン事業の報告会、への参加をご希望される方は、お名前、ご所属、ご連絡先、交流会参加の有無を明記の上、平成18年12月4日(月)までにFAXまたはメールにて下記事務局あてにご送付ください。

※参加申込書は国土交通省 都市・地域整備局 地方整備課のホームページからダウンロードもできます。

⇒ <http://www.mlit.go.jp/crd/chisei/index.html>

【お問い合わせ・参加申し込み先】

株式会社 価値総合研究所(担当：日高、大崎、西野、目黒)
〒108-0073 港区三田3-4-10 リーラヒジリザカ7階
電話：03-5441-4811 FAX：03-5441-7661
e-mail：uji_intern@vmi.co.jp



* JR中央線四ツ谷駅麹町口前(歩一分)
* 地下鉄南北線・丸の内線 四ツ谷駅(歩三分)

地域づくりインターン事業 参加地域を募集！！

◇体験調査員（三大都市圏に在住する20歳～35歳の若者）を受入れ、
様々な体験を通じた提案、交流によって得られる成果を、今後の地域
づくりに活かしていきたいと考えている市町村を募集します◇

地域づくりインターン事業は、平成19年度も引き続き実施する予定です。正式な募集の通知は別途ご案内
します。ここでは参考までに、平成18年度の地域づくりインターン事業の概要を簡単にご説明します。

【受入れ人数と費用負担】

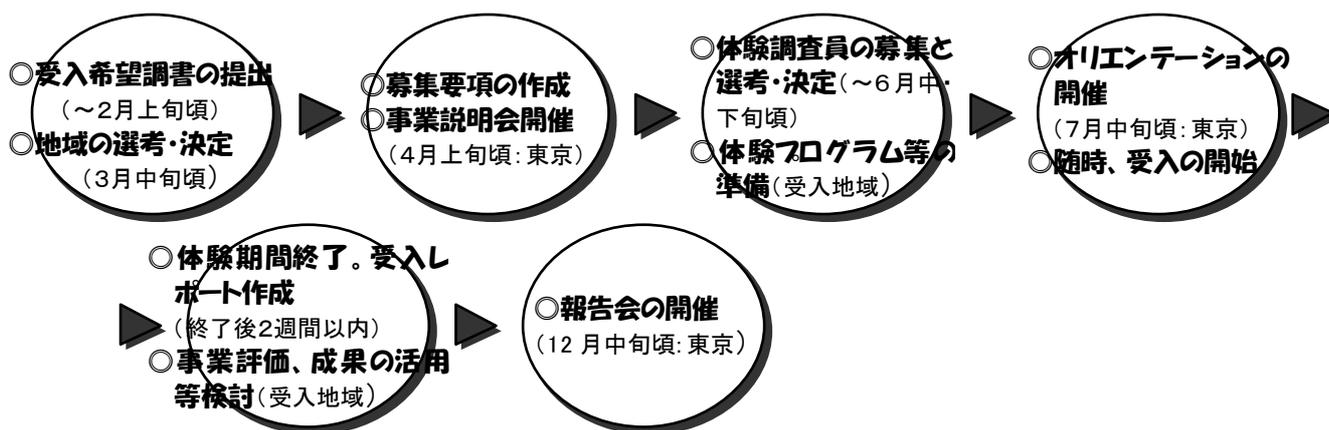
- ◆地域への派遣人数は原則2名です。
- ◆費用は1団体につき6万円（体験調査員1名当たり3万円）、旅行傷害保険加入料、東京で開催されるオリエン
テーション参加への交通費（首都圏以外の方が参加する場合）、調査員のレポート作成費用1人1万円を事務局
が負担します。また、3名以上の体験調査員の受入も可能ですが、増加人員分のこれらの費用は地域が負担する
こととなります。
- ◆地域では、宿泊や食事の面で体験調査員に費用負担等が発生しないように調整していただきます。

【体験プログラム】

- ◆体験調査員の受入を行う各地域は、それぞれの創意工夫によって地域づくり活動や地域の産業などの体験、地域
住民との交流等を盛り込み、滞在2週間以上の体験プログラムを作成してください。
- ◆体験プログラムを検討したり、実際に進めたりしていく上では、体験を実施する主体やホームステイ等の宿泊先
といった関係者のみなさんが受入体制を整備して、事業の効果的な推進を図ってください。

※詳細については、今後、変更になる場合もあります。

【地域づくりインターン事業の流れ】



地域づくりインターン事業NEWS

平成18年11月発行

国土交通省 都市・地域整備局 地方整備課
〒100-8918 千代田区霞ヶ関2-1-3 (担当: 嶋田、小林、谷口)
TEL: 03-5253-8404 FAX: 03-5253-1588
E-MAIL: chitos@mlit.go.jp URL: <http://www.ujiturn.net/intern>

【編集】(株) 価値総合研究所 戦略調査部門
TEL: 03-5441-4811 FAX: 03-5441-7661